

「神戸の絆」ネットワーク 広報誌（平成18年11月6日号）

第4回オンライン会議 開催のお知らせ

「避難所での経験と実践（体験談）」について

神戸の絆ネットワークでは、「防災・安全・安心」をキーワードとした自治体職員の絆を広げるためオンライン会議を開催します。

第4回テーマ 「避難所での経験と実践（体験談）」

12年前の阪神・淡路大震災では、避難所の管理運営には、施設管理者、学校職員、地元の住民、被災自治体や応援自治体の職員、ボランティアなどが携わったのですが、当時は、管理運営のためのマニュアルがなかったため、まさに手探りで運営しなければならない状況でした。

このため、その後神戸市においては、当時の経験を生かしながら、自主防災組織の方が中心に避難者が自主的に避難所の運営にあたるマニュアルを作成しました。また、平成9年度には「学校防災マニュアル」を作成し、学校避難所運営における教職員の役割分担を明確にしています。

一昨年の新潟県中越地震でも、避難者数は最大で103,178人となりましたが、阪神・淡路大震災の経験を踏まえた避難所運営ルールが活用されました。

会員の皆さまの中には、大震災の時の避難所での対応にあたっていただいた方が多くおられます。今回の会議では、皆さんの避難所での体験談について意見の交換を行います。

登録期間 平成18年11月 6日（月）～ 会議終了日

会議期間中でも随時登録が可能です。

会議期間 平成18年11月 6日（月）～ 11月27日（月）

参加資格

- 1 自治体の職員及び元職員（「神戸の絆」登録会員以外もOKです）
- 2 防災についての知識及び学識を有する者（大学など研究機関に所属する者等）

参加登録方法

参加（オンライン会議への投稿）を希望される方は、氏名、所属・役職（ex. 神戸市危機管理室主査）、プロフィール（防災関係の略歴や現在の職務内容など。200字以内）を本文に記載した電子メールを、sec@kobe-kizuna.net へ送信してください。事務局で確認後、IDとパスワードを返信します（72時間以内に返信メールがなければ、事務局までご連絡ください）。

前回の会議までの登録者も再度登録が必要です。登録希望者は、氏名のみを記載した電子メールをsec@kobe-kizuna.netへ送信することで前回までの会議と同じIDとパスワードで投稿が可能となります。